

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
自立支援放課後等デイサービス こどもらんど小島教室		令和7年3月1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		それぞれの活動に合わせたスペースを十分に確保し、落ち着いた環境整備に努めております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		1日5名職員を配置しています。個々に合わせた療育・支援を行っております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		つまづきやすい段差などはバリアフリー化しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		使用する物の消毒・清掃を毎日行い、清潔な環境づくりに努めております。学習スペースを区切ったり、学習を終えた後には開放的な空間で集団活動ができるような空間づくりを行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況や必要に応じて、臨機応変に対応しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		打ち合わせ・終礼・課題検討会議等で随時情報共有を行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者等向け評価表を基に保護者等の意向を把握し、必要に応じて改善に取り組んでおります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務前・終了後のミーティング、月一回のケース会議等で意見交換をしております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は実施できていませんが、機会があれば積極的に実施したいと考えております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修・外部研修に参加し、学びを広げ深められるよう努めております。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		子ども家庭庁の児童発達等における支援プログラムにおける作成・公表のガイドラインにのっとり作成し、HPにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		本人や保護者のニーズの聞き取り、毎日の様子の観察記録等を十分に分析し、計画書を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎月ケース会議を実施し、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した支援に努めております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画書の検討会議を実施し、計画に沿った支援に努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所独自のアセスメントシートを作成し、療育に活用しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」における5領域のねらい及び支援内容を踏まえ、具体的な支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で情報を共有し、話し合いながら取り組んでおります。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々にあった活動について日々検討しています。柔軟な対応を心がけております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせ、それぞれが充実した内容になるよう検討し、活動計画案を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ず打ち合わせの時間を設け、前日の様子の振り返りを基に支援内容を話し合い、その日の活動や役割分担を確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼でその日の支援の振り返りを行い、情報共有を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		社内研修等でも記録の大切さを学んでいます。記録をしっかりとってアセスメントし、より良い支援ができるよう取り組んでいます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		本人や保護者と面談し、モニタリングを行っています。また、会議を実施し計画の見直しの必要性を検討しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		様々な活動を通し、充実した療育を受けることができるよう、多彩なプログラムを提供しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択活動や様々な活動の中に自己選択の機会を設けたりすることで、自己決定をする力を育てるための支援を行っております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な限り参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			受け入れた場合に備え、かかりつけ医や主治医等を把握し、緊急時にマニュアルに沿って迅速に対応できるようにしていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		日々の送迎の際に情報共有・連絡調整等を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		入学支援会議を実施し、情報共有を行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行する事業所の支援職員へ、支援内容等を提供しております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		情報の共有を行い、状況に応じて連絡を取り合っております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	機会があれば検討をしていきたいと考えております。こどもらなどの他事業所との交流を行い、様々な体験ができるような活動を行っております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		可能な限り参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートへの記入またはお迎え対応時に、保護者の方と情報を共有したり共通の理解を得たりしながら、ご家庭との連携に努めております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	効果的な働きかけをご家庭でも実践していただけるよう、支援した内容をお伝えしております。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		いつでも手に取ることができるよう、玄関にファイルを準備しております。利用契約の際に、運営規定、重要事項説明書の説明を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス提供を作成する際には、意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、意向を確認する機会を設けるよう努めております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、同意を得ております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった際、その都度適切に対応しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	各ご家庭の状況等を尊重し、保護者会等は設けてはおりません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付担当者や解決責任者の体制を整備し、迅速に対応できるよう努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎週、活動内容や状況をホームページにてお知らせし、保護者との情報共有を図っております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に、個人情報の取り扱いについて書面で説明を行い、常に取り扱いには注意を払うよう努めております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡ノートへの記入またはお迎え対応時に、保護者の方と情報を共有したり共通の理解を得たりしながら、ご家庭との連携に努めております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在は行っておりません。	今後検討していきたいと考えております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		対応マニュアルを策定し、状況に応じて周知を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		服薬や予防接種・てんかん発作等の有無は契約時に確認しております。てんかんがあった場合・予防接種を受けた場合等には、保護者から直接お知らせをいただき情報を共有しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーの有無は契約時に確認しております。	対応が必要な場合は、現状で行う事のできる最良の対応を検討していきたいと考えております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、その計画に基づいた研修や訓練を実施しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		玄関に掲示しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例集を作成し、いつでも閲覧できるようにしております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、事業所内研修を行い子ども達の権利擁護に努めております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		対象となる児童がいる場合には、子ども及び保護者に対して事前に十分な説明を行い、了解を得た上で個別支援計画に掲載していきます。	